

吉川広家公 第二 没後400年記念展 開館30周年記念展 広家と秀吉

2nd period:
Kikkawa Hiroie & Toyotomi Hideyoshi

天正15年(1587)、広家公は家督相続後に毛利輝元より「広」の字を賜り、経言から広家と改名した。この翌年、広家公は毛利輝元、小早川隆景と共に豊臣秀吉の歓待を受けるために上洛した。上洛期間は2ヶ月あまり、その間、天皇へ拝講、聚楽第での和歌会に参加、能の鑑賞、茶の湯など文化に触れる機会をえた。そして、秀吉の養女(宇喜多秀家の姉)を正妻に迎え豊臣家の姻戚関係となる。天正19年(1591)、秀吉の国割があり、吉川氏の所領は加増され、広家公は居城を日山城から出雲富田城へ移ることが認められたが、同時期に夫人が亡くなるという不幸に見舞われ、豊臣家との姻戚関係はなくなった。しかし、広家公は秀吉政権に従い、朝鮮出兵や普請(土木工事)の命令に対して尽力していた。今回の展示では、家督相続後の広家公と豊臣秀吉との関係を中心に紹介する。

今回は広家公没後400年記念とディステーションキャンペーンにあわせ、岩国市出身の漫画家・弘兼憲史先生に広家公像を作画していただきました。

●重要美術品 刀・振分髪 写真:松本啓之亮



●重要美術品 太刀・一文字吉家(秀吉の遺品)



●豊臣秀吉像



●天正大判



●岩国市指定文化財

大肩衝茶入(秀吉ゆ拝領)

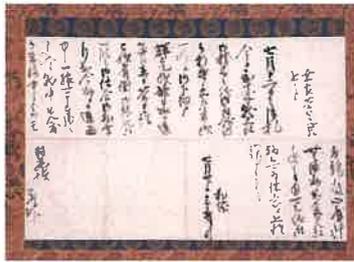


●能管(広家公所用)

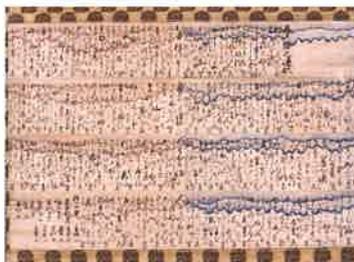


●岩国市指定文化財

千利休書状(広家公宛)



●国指定重要文化財 夢想連歌(里村紹巴筆)



令和6年度 修理報告展示

◎国指定重要文化財
吉川家文書1巻、
1幅(二大字「以敵」吉川元長筆)
◎岩国市指定文化財
吉川広家公像



展示期間 10月23日(金)～28日(火)
11月13日(土)～18日(木)

記念講演

広家公没後400年と開館30周年を記念し今年3月に完了した「吉川広家公像」の修理事業について講演を行います。

日時 11月13日(土)13時より
場所 吉川史料館 展示室
講師 橋本志保
(株式会社 岡田光堂 修復部)

●三巴具足(広家公所用)



特別
展示

国宝 狐ヶ崎の太刀

10月2日(土)
—11月30日(日)

写真:松本啓之亮

●太刀 銘為次(狐ヶ崎)

ギャラリートーク 会期中、学芸員による展示品の解説を以下の日程で開催します。

●開催日程:9月14日(土)、10月5日(土)・12日(土)、11月8日(土)・9日(土)・23日(土)・30日(土)
いずれの日も14:00から30分程度(ギャラリートーク参加費無料 ※要入館料)

吉川史料館
Kikkawa Historical Museum



← QR コードで HP にアクセス

●吉川史料館 SNS アカウント

Facebook 吉川史料館

Instagram iwakuni.kikkawa

〒741-0081 山口県岩国市横山2丁目7-3
電話 0827-41-1010 FAX 0827-41-3100
https://www.kikkawa7.or.jp

アクセス

- 錦帯橋バス停より徒歩10分
- 新幹線「新岩国駅」よりタクシーで10分
- 山陽道「岩国IC」より車で5分

